

令和3年11月22日

保険薬局各位

鈴鹿回生病院 病院長 加藤公  
鈴鹿回生病院附属クリニック 院長 田中公

## 院外処方せん様式の1回量処方への変更について

平素より当院の院外処方せんの応需ならびに疑義照会などの対応をいただき有り難うございます。

ご承知のように、平成22年1月に厚生労働省から「内服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会」の報告が発出されています。今回、当院の医療情報システムを全面的に更新するのに合わせて、令和3年12月1日より院外処方せんを報告書に準じた様式に変更致します。

主な変更点としましては、内服用量記載を「1回量」と「1日量」の併記とさせていただきます。記載例を別紙に示しますのでご確認ください。なお、医師は処方オーダー入力時に、1回量および1日量を確認可能な仕様になっていることを申し添えます。

医療情報システム更新直後は処方オーダーの不具合が発生することが危惧されます。保険薬局で不具合の事例を発見された際は、下記連絡先にご連絡をお願いします。

ご理解ご協力のほど、宜しくお願い致します。

### ★通常の疑義照会（これまでと同様）

附属クリニック：総合受付 059-375-1155、 病院：事務所 059-375-1212

⇒各診察室または各医師

### ★システム不具合の連絡先

鈴鹿回生病院 薬剤管理課 059-375-1321

## 【変更点と記載例】

## ①内服の用量を「1日量」から「1回量」に変更

例) セレコックス錠 100mg	1回	1錠	(1日2錠)
1日2回朝夕食後			7日分

## ②頓服の表記

例) 【般】ロキソプロフェン Na 錠 60mg	1回	1錠	
疼痛時		10回分	

## ③不均等の表記

例) マドパー配合錠	(1日6錠)		
朝:2、昼:1、夕2、就寝前:1			
1日4回朝昼夕食後と就寝前			7日分

## ④連日服用ではない場合(隔日投与など)の表記

例) バクタ配合錠	1回	1錠	(1日1錠)
1日1回朝食後			
週3回(月・水・金)服用			3日分

## ⑤散薬の用量を「1日量」から「1回量」に変更

例) メイアクトMS 小児用細粒 10% 100mg	1回	1g	(1日3g)
1日3回朝昼夕食後			7日分

## ⑥水剤の表記

例) メジコン配合シロップ	1回	5mL	(1日15mL)
1日3回朝昼夕食後2時間			7日分

## ⑦外用薬の表記

例) アズノール軟膏 0.033%	40g		
塗布・1日2~3回			
臀部			

## ⑧湿布薬の表記

例) 【般】ケトプロフェンパップ 60mg (20×14cm 非温感)	42枚		
貼付・1日1回			
1回1枚 腰・右肩			

## ⑨インスリン自己注射の表記

例) ノボラピッド注フレックスタッチ 300単位	4キット		
朝:10単位、昼:10単位、夕:10単位			
30日分			
総量:1080単位			
皮下注(食直前)			
1日3回			

\* 文字数が多くなると改行して表記されます。

\* 11月22日現在、表記について一部修正しているところがあり、変更になる場合がありますので、その点はご了承ください。